

No.119 令和8年
7月号

年3回：7月・11月・2月発行

発行・編集

盛岡市町内会連合会

盛岡市若園町2-2

(盛岡市総合福祉センター)

TEL 623-4690 FAX 623-4699

E-mail sityouren@iaa.itkeeper.ne.jp

印刷／杜陵高速印刷株式会社

市町連

MORIOKA

盛岡市町内会連合会広報

令和8年度通常総会

去る5月13日、県民会館中ホールにおいて、内館茂盛岡市長様をはじめ、多くのご来賓のご出席をいただき、令和8年度盛岡市町内会連合会通常総会を開催しました。

すべての議案が提案のとおり承認され、役員選任では3期6年にわたり会長を務めた小枝指好夫氏が勇退し、新たに四戸春雄氏が選任されました。

<承認された議案>

- ・令和7年度事業報告並びに収支決算
- ・令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・令和8年度役員を選任

令和8年度 盛岡市町内会連合会通常総会



ごあいさつ

会長 小枝指 好夫

皆様には、ご多用のところ令和8年度盛岡市町内会連合会通常総会にご出席いただき、厚く御礼申し上げます。

当連合会は、町内会相互に連絡協調し、市民生活の向上と市民福祉の増進に努め、市勢の発展に寄与することを目的に創設した団体であります。

全国に誇る盛岡の市民協働の歴史と伝統を築いてこられた先人、そして当連合会の活動にご協力いただいている関係機関・団体の皆様、会員の皆様に心より感謝を申し上げます。

町内会活動は、少子高齢化や価値観の多様化等に起因する役員の担い手不足など、難しい問題に直面しておりますが、「盛岡市地域づくり協働推進計画」の基本理念である“盛岡が盛岡らしく在り続ける”ため、市と危機感を共有しながら未来志向の活動を推進してまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

本日は、他の議案とともに新たな役員を選任をお願いしております。皆様には建設的なご意見をいただきながら、全議案にご賛同賜りますようお願いを申し上げます。

盛岡市長 内館 茂 様

皆様には市政の推進に格別のご理解、ご協力をいただくとともに、さまざまな活動を通じて明るく住みよいまちづくりにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

市では、令和8年度から5年間を計画期間とする「第二次盛岡市地域づくり協働推進計画」を策定いたしました。

私は、町内会や地域活動に支えられている盛岡の力を日々実感しています。町内会・自治会は長年にわたり地域を支え、盛岡を築いていただいた大切な財産です。「町内会運営は本当に厳しいが、工夫しながら次世代へつないでいきたい」という前向きなお話しも増えてきました。

私は、そのような皆様の姿に盛岡の地域力、人の温かさ、未来への希望を感じています。

これからも皆様の声にしっかり耳を傾けて、共に考えていきたいと思っております。



盛岡市議会議長 櫻 裕子 様

盛岡市は、歴史ある建造物と豊かな自然が調和する美しいまちです。岩手県を中心として発展してこることができた背景には、町内会・自治会の皆様方のたゆまぬご苦勞があることを、改めて感じております。市民生活を支えていただいていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

地域を取り巻く課題は多様化・複雑化しており、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めていくためには、行政と町内会・自治会がこれまで以上に連携し、協力し合うことが欠かせないものと認識しております。

市議会としても地域の皆様のお声をお聞きしながら、住み良い地域社会の実現に向けて、今後も力を尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



盛岡市社会福祉協議会会長 谷藤 裕明 様

近年、私たちを取り巻く環境の変化に伴い、生活課題が多様化・複雑化する一方で、地域活動を担う人材の不足や、住民のつながりの希薄化など、地域福祉の基盤が弱まりつつある状況も見られます。

このような中、町内会・自治会の皆様には、さまざまな課題への対応のみならず、要配慮者への見守りや災害への対応など住民福祉の増進に寄与する取り組みは今後より一層重要性を増していくものと存じます。

当協議会は昨年度、「第三期地域福祉活動計画」を策定しました。

今後においても、計画の理念である「共につくり 支え合う 自分らしさとぬくもりのあるまち」の実現に努めてまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



令和8年度 盛岡市町内会連合会事業計画

当連合会は、盛岡市が進めるまちづくりのパートナーとして、これまで60年以上にわたって活動を続けてまいりました。その結果、「盛岡市地域づくり協働推進計画」に掲げる理念“盛岡が盛岡らしく在り続ける”ことに貢献することができたものと存じますし、時を経て人が変わっても当連合会の理念やまちづくりへの思いが変わることはありません。

しかしながら、私たちが想像した以上に時代が急激に変化する中で、当連合会の設立当初の理念や先人が積み上げてきた歴史や財産を守り続けるためには、変化に的確に対応し、未来志向の組織づくりを進めることが重要となっています。

当連合会といたしましては、地区組織や各部会が中心となって計画した事業を着実に実施するとともに、会員の皆様の声に耳を傾けながら、持続可能な事業運営、組織体制の構築に向けた改革に取り組んでいくこととします。



会長 四戸 春雄
(太田地区)



副会長 伊達 康子
(青山地区)

総務・市民生活・広報情報部会担当



副会長 泉澤 力
(城南地区)

福祉厚生・教育振興部会担当



副会長 長岡 利明
(本宮地区)

地域振興・防犯防災交通安全部会担当

総務部会

部会長 福地 均
(西厨川地区)



事業計画に基づく運営管理と効率的な執行に努めます。

- ① 通常総会、役員会、理事会等の開催
- ② 表彰式の開催(令和8年10月16日)
- ③ 新年交賀会の開催(令和9年1月14日)
- ④ 「緑の募金活動」への協力

防犯防災交通安全部会

部会長 井上 行男
(上米内地区)



「安全で安心できる住みよい地域社会」を目指し、関係機関等と連携して活動に取り組みます。

- ① 自主防災組織づくりの促進及び啓発活動支援
- ② 地域における交通事故の防止対策推進
- ③ 部会主催の講習会・研修会の開催
- ④ 行政等が主催する研修会等への参加・協力

市民生活部会

部会長 福土 信幸
(城南地区)



盛岡市ごみ減量化行動計画に基づき、ごみ減量資源再利用運動を推進します。

- ① ごみ分別処理の啓発指導
- ② ごみ減量資源再利用地区懇談会の開催(26地区)
- ③ もりおかエコライフ2026の開催(市共催)
- ④ きれいなまち推進協議会との合同研修の開催

教育振興部会

部会長 山岸 政宏
(青山地区)



「たくましく生きる盛岡の子」を育むため、地域の役割と責任を果たす取り組みを推進します。

- ① 市教育振興運動第13次5か年計画に関する啓発活動及び参加促進
- ② 教育振興運動ブロック研修への参加
- ③ 部会主催の講習会・研修会の開催
- ④ 行政等が主催する研修会等への参加・協力

福祉厚生部会

部会長 鎌田 まき子
(上田地区)



少子高齢化へと社会が大きく変化する中で、地域福祉に関する研修等に取り組みます。

- ① 部会主催の講演会・研修会の開催
- ② 盛岡市社会福祉大会への参加

広報情報部会

部会長 畠山 隆志
(乙部地区)



各町内会・自治会に幅広く情報を提供するため、各地区組織の協力を得ながら計画的に広報を発行します。

- ① 広報「市町連MORIOKA」の発行(年3回・班回覧)

地域振興部会

部会長 堀合 新吾
(山岸地区)



町内会・自治会、関係機関等と連携し、住みよい地域づくりを推進します。

- ① まちづくり懇談会の開催(15地区・市共催)
- ② コミュニティーリーダー研修会の開催(市共催)



令和8年度 市町連役職員

顧問 問 小枝指好夫 (高松二丁目)
 会長 長 四戸 春雄 (中新田)
 副会長 長 伊達 康子 (月が丘一丁目)
 [担当部会: 総務・市民生活・広報情報]
 泉澤 力 (新庄)
 [担当部会: 福祉厚生・教育振興]
 長岡 利明 (本宮一丁目)
 [担当部会: 地域振興・防犯防災交通安全]

常務理事 細川 恒 (上田堤)
 監事 遠藤 政幸 (西青山三丁目)
 丸山 久春 (湯沢団地)

【総務部会】
 部長 福地 均 (稲荷)
 副部長 後藤百合子 (加賀野一丁目)
 部長 吉田 公一 (仁王三小路)
 副部長 伊藤 純 (高松第一)
 菊池 健 (浅岸)
 千葉 治穂 (東安庭一丁目)
 藤村貴美夫 (大沢)

【市民生活部会】
 部長 福士 信幸 (松尾町)
 副部長 大坪 靖夫 (神子田町)
 部長 中田 司 (盛岡駅前北通)
 副部長 川村 秀文 (四ツ家)
 高橋 章 (厨川一丁目第二)
 中村 英俊 (仙北三丁目)
 佐々木信好 (西太田第一)
 細矢 未治 (滝の下)

【福祉厚生部会】
 部長 鎌田まき子 (上田第一)
 副部長 熊谷 俊巳 (黒石野)
 部長 新井山正仁 (松園三丁目)
 副部長 菊池 義高 (月が丘三丁目)
 上野 章子 (八幡第二)
 藤澤 由蔵 (根田茂)
 及川 一男 (三本柳西)

【地域振興部会】
 部長 堀合 新吾 (御弓町)
 副部長 松岡 博 (金蔵)
 部長 藤田 尚士 (御厨橋)
 副部長 浅沼 道成 (北松園)
 神部 伸也 (みたけ中央)
 田沼 徳一 (上厨川)

【防犯防災交通安全部会】
 部長 井上 行男 (桜台)
 副部長 田山 幸男 (寺の下)
 部長 大里 進 (若園町)
 副部長 赤澤 弘人 (清水町第一)
 西 光栄 (西仙北二丁目)
 宮野 勇夫 (大宮)
 藤島 正洋 (内村)

【教育振興部会】
 部長 山岸 政宏 (西青山二丁目)
 副部長 松井 良治 (緑町)
 部長 木井さくや (三ツ割鉢の皮)
 副部長 村山 茂 (向中野)
 藤村 敏夫 (三本柳南)
 川村 圭司 (河南)

【広報情報部会】
 部長 畠山 隆志 (黒川南)
 副部長 藤原 徳雄 (緑が丘一丁目北区)
 部長 平野耕一郎 (夕顔瀬町第一)
 副部長 佐々木公博 (猪去)
 石井 宗夫 (つなぎ)

事務局員 工藤 香子 (みたけ三丁目)

防犯防災講演会 令和8年3月3日(火)開催

「クマとの共生 ～近年の出没状況と新たに必要となる対策」

講師：盛岡市動物公園ZOOMO園長 辻本 恒徳 氏

<講演要旨>

岩手県におけるクマの出没状況

昨年は異常出没の年だった。東北では秋田県に次いで多く、人的被害は37件38人（うち死亡5人）

盛岡市におけるクマの出没状況

盛岡は自然豊かで周囲の山林はクマの生息地。昨年は街中に多数侵入し出没と徘徊が多発したが、確認追跡と注意喚起が行われ人身被害はなかった。

クマが里に下りてくる要因

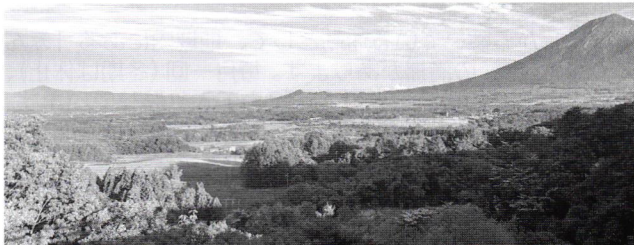
- ・エサ資源となる山林内の樹木の減少、畑作物などの誘因物や里山林の荒廃
- ・人からクマへの圧力が弱まっていることによる「アーバンベア」の出没

異常出没への対策（岩手県の基本方針）

- ・人の生活圏への出没防止
- ・出没時の緊急対応
- ・クマ類個体群管理の強化
- ・人材の育成・確保
- ・対策の実効性を高める体制の整備等

まとめ

野生動物との共生とは、“せめぎ合いにより共存していくこと”。被害が増加しているが、有害獣の捕殺は根本的解決にはならない。“生物多様性(生態系全体)の保全”を基本とし、クマの生態に基づく有効な対策を関係者が連携して実施することが重要。



令和8年度 まちづくり懇談会の開催

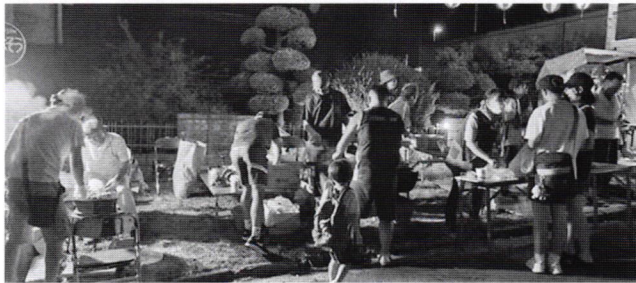
盛岡市と当連合会の共催による「まちづくり懇談会」が市内15地区で開催されます。

地区名	会場	開催日時
巻堀姫神	巻堀地区コミュニティセンター	7月6日(月) 14:00
青山	青山地区活動センター	7月16日(木) 18:00
桜城	桜城老人福祉センター	7月17日(金) 14:00
築川	築川老人福祉センター	7月29日(水) 18:30
土淵	土淵地区活動センター	7月31日(金) 18:30
北厨川	北厨川老人福祉センター	8月7日(金) 14:00
渋民	渋民公民館	8月18日(火) 18:00
松園	松園地区活動センター	8月21日(金) 14:00
上田	上田児童老人福祉センター	8月25日(火) 18:30
大慈寺	大慈寺児童センター	8月26日(水) 18:30
緑が丘	緑が丘地区活動センター	10月6日(火) 18:30
仁王	仁王児童老人福祉センター	10月13日(火) 18:30
つなぎ	JSC日本語学院(旧繫小学校)	10月20日(火) 18:30
西厨川	西厨川老人福祉センター	10月27日(火) 14:00
みたけ	みたけ地区活動センター	11月11日(水) 18:00

加賀野四丁目に住んで良かったと思えるまちづくり 加賀野四丁目町内会(加賀野地区)

加賀野四丁目町内会は、国道4号線加賀野交差点から北へ広がる約300世帯の地域です。町内会の2大行事は町内夏祭りと秋の敬老祝賀会です。

夏祭りでは、加賀野地区に伝承される「加賀野やんさか」の太鼓に誘われ、公民館裏の広場は200人を超える老若男女で賑わいます。青年部の「焼き鳥」「焼きそば」「かき氷」などの屋台、子どもたちを対象にした「射的」、輪投げ、子ども会世話人の方による「菓子すくい」、女性部の皆さ



たくさんの屋台で盛り上がった夏祭り

公園で花を咲かせる 本宮七丁目町内会(本宮地区)

本宮七丁目町内会は、地区町内会の区割り調整により2014年4月に新設されました。会員世帯数は約200世帯と小規模です。

設立時から続いている活動として、地域内にある「みんなの稲荷公園」の清掃があります。毎月一回(冬期は休止)、公園内のゴミ拾い、草取り、花壇の手入れをしています。複数班での当番制としていますが、花苗植栽・球根植えの時は地区の子ども会も参加してくれます。作業時の会員間のおしゃべりや世代を超えたふれあいで、たくさんの花が咲きます。(誇張表現あり)

親睦会やレクリエーションの開催が敬遠されがちな今日、とても良い活動なので継続していきます。

また、「過ごしやすい環境・シンプルな活動」と勝手なキャッチフレーズをつけた町内会ウェブサイトを開設しています。

んによる「おでん」と盛りだくさん。スイカも無料で振る舞われます。こんなにいたのかと思うほどたくさん子どもたちが集まります。役員をはじめ多くの会員の協力がなければ祭りを開催することはできないといつも思うのですが、中学生のボランティア参加も頼もしい限りです。

町内会には170名を超える高齢者が居住しています。敬老祝賀会の参加者が年々減少してきたことから、令和7年度からは公民館で実施することとしましたが、近くでの開催は参加者から好評です。毎年市長さんにおいでいただき、1曲披露していただいています。また、孫のような児童の歌や演技、青年部の音頭上げなどは楽しみの一つです。女性部の皆さんがつくる芋の子も絶品です。

また、県内で最初に組織された老人クラブとされる「松寿会」の皆さんには、年2回のバス研修のほか、ふれあいパトロールの中心として頑張っていただいています。

(袖上 寛 記)

見た目は素人丸出しですが、町内会への回覧物・掲示文書などが必要な時に参照でき、町内会の活動予定や、本宮地区の関連行事等のスケジュールも参照できます。



「みんなの稲荷公園」の清掃活動

従来への回覧等を廃止することはできませんが、必要とする方が情報機器の利用方法を学習する機会が設けられたら良いと思っています。

ほかに、町内会会員でさまざまな技能や知識をお持ちの方から、会員の皆さんに伝授していただく機会も欲しいものです。

(小笠原 星孝 記)

さまざまな工夫で持続可能な行事を 二又自治公民館(飯岡地区)

二又自治公民館は32世帯104人で構成される自治会です。一人暮らしの方が何軒かありますが、空家はありません。伝統を受け継ぎ、皆さんの協力でさまざまな活動を行っております。まずもって、行事へ関心を持ってもらうことが工夫のしどころです。

三世代交流と消火訓練と一緒に計画したことがありました。消防団員に数名地域の方々の方が在籍していたこと、消防団活動を目の当たりにすることがなかなか無かったことから、自治会員防火意識の向上とマッチングをして行いました。老若男女問わず消火訓練の体験をすること、消防車が身近に見れることなどから、思った以上に集まった皆さんの真剣な様子が印象的でした。訓練の後で懇親会を行いました。乳幼児からおじいちゃん、おばあちゃんまで一堂に会する機会がなかなか少ない昨今、真剣な表情が和やかな表情に変わり、大変盛り上がりました。

消防団員の方への感謝の声や、「しばらく見ないうちに



三世代交流と一緒に実施した消火訓練

大きくなったなあ」などと会話が弾み、微笑ましい時間でした。

コロナ後はなかなか皆さんが集まる行事などは遠くなった雰囲気の中、令和6年三世代交流会を再開しました。趣向を変えてゲームなどの開催となり久しぶりの賑やかな集まりでした。何かと行事の是非が問われるこの頃ですが、小規模な自治会であるが故の小回りのきく活動や、意思疎通できる良さを持ちつつ行事を続けていきたいと思えます。

(浅沼 勝己 記)